

(令和4年1月試験研究業務月報)

試験研究課題名：強樹勢台木の接ぎ木による賀茂ナス果実の高品質・高付加価値化技術の
確立

研 究

賀茂ナスの機能性成分を測定中

当センターでは、伝統野菜に含まれる機能性成分*¹に着目し、賀茂ナスの抗酸化能（ORAC 値*²）を増加させる栽培条件を検討しています。

昨年の8月に収穫した果実を凍結保存した試料について、1月上旬からORAC 値を順次測定しています。

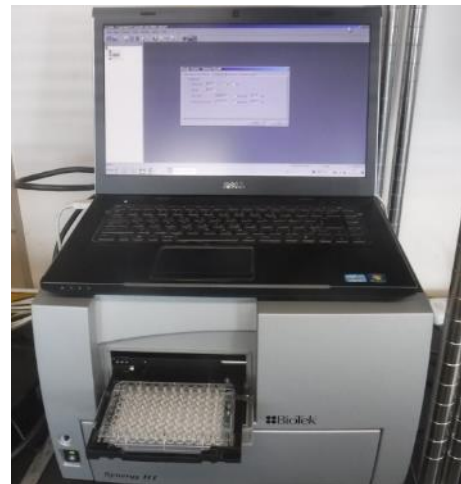
今後、ORAC 値以外の機能性成分の分析も行い、得られたデータを活用して、賀茂ナスの消費拡大を図り、生産拡大を目指します。

*1 機能性成分：食事での摂取により健康を維持する効果が期待される成分。

*2 ORAC 値：高いほど人体に有害な物質を除去する能力が高いことを示す値。



8連ピペットで試料を分注



ORAC 値を測定する器械